

RIDAI NEWS & TOPICS

2011

理大通信

vol. 春号

発行 / 2012年3月

学科サプライズ『4次元宇宙シアター』完成

REPORT

平成23年度教員合格者117名

平成23年度サークル活動報告



Very Interesting

岡山理科大学

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



たんQくん

Very Interesting

岡山理科大学

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



終わりは始まり

期末試験、入学試験、学位記授与式と続く年度末は新しい年度の始まりへと向かう時期です。『アメリカでは卒業式をコメンズメント commencement と言い、その言葉の意味は終わりを意味する「卒業」ではなく、「始まり」とか「開始」を意味するのです。』これは、学園創立者の加計勉名誉理事長が学位記授与式でよく話された内容でした。終わりは同時に始まりであり、今からの未来に思いをはせるスタートポイントというわけです。

加計学園は創立50周年を迎え、正門、同窓会館、銅像などの整備を行ってきました。岡山理科大学の50周年は学園の創立の2年後であり、今は次の50年を迎える準備中といった時期。将来に向かっての計画の1つは建物のスクラップ&ビルド。大学創立時の建物を統合し、質の高い教育研究環境へとポリッシュアップする計画です。この計画のポイントは「憩いの場」の創出であり、食堂環境の改善・自学自習環境の拡大・芝生広場のキャンパスの整備などのプランを練り上げていま

す。新建造物の建設が、新たな50年への出発点となるでしょう。

4月には4番目の学部「生物地球学部」が誕生します。1学部1学科5コースの構成で、自然を総合的に理解するナチュラルヒストリーの内容が中心であり、フィールドワークを重視しているのも大きな特徴。岡山理科大学らしいユニークな学部として育って行ってほしいと願っています。

50周年事業、新学部の発足、新建造物建設計画など、岡山理科大学は元気。マスコミへの登場頻度もなかなかのもので、日経BP社のアンケートでは、中国四国地区の大学での注目度第4位という高い評価を得ました。広島大学、岡山大学、愛媛大学に続いての第4位ですから、私立大学ではトップの評価を得たことになります。ここ数年の志願者・入学者の増加はこのような高い評価に立脚したものであり、岡山理科大学の活発な研究や教育改革の成果、充実した社会貢献などを反映したものであると考えています。岡山理科大学の成長に期待してください。皆さんの期待が大学を育てます。

◎学長ブログ更新中!

2011年11月29日

加計学園は創立50年

加計学園は創立50周年を迎え

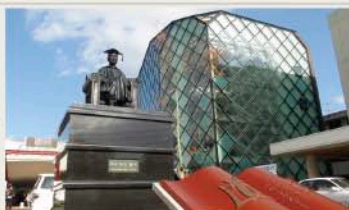
- ・名誉理事長の銅像建立
- ・50周年記念館の建設
- ・柔道金メダリストの山下泰裕先生による記念講演(11月16日)
- ・ノーベル化学賞の鈴木章 岡山理科大学・倉敷芸術科学大学特別栄誉教授の記念講演(11月19日)
- ・第1回加計杯日本語弁論国際大会の開催
- ・1150名が参加した創立50周年記念式典などの多彩な行事が開催されました。

卒業生を始めとし、関係各位には多大なるご寄付を賜りまことに有り難うございました。厚く御礼申し上げます。

50周年記念館はユニークな建物で西側と北側の外壁がガラスとなっています。1階には加計学園の歴史が展示されています。ビデオや画像で懐かしい風景を見ることができます。

2階はビュッフェコーナー、3階は会議室と同窓会事務室、4階はホールとなっています。同窓の皆様、ぜひ足を運んでください。

岡山理科大学は高等学校に2年遅れて創立されていますので2年後が50周年です。新たな50年に向けての基盤固め助走の2年間となります。



1964年に応用数学科と化学科の2学科で出発。1966年に応用化学科と応用物理学科を加えて4学科に。1969年に機械理学科と電子理学科を増設して6学科に。わずか5年で3倍に大きくなっている。7番目の学科である基礎理学科の増設には6年の間が開いているがその間には大学院の6つの専攻が設置され

ており研究体制の整備期間であった。

今後の50年間は今までとは大きく異なる環境となった。学科の設置などは比較的容易となり経営規模の拡大・縮小は大学の自己責任となった。進学率が上昇したものの18才人口は減少の一途をたどっている。逆に大学の入学定員は短期大学の4大化などもあって年々増加の一途をたどっている。

ところで日経BPコンサルティングによる「大学ブランド・イメージ調査2011-2012」の結果が公表された。中国・四国の調査の対象となった58大学のアンケートの結果、岡山理科大学が4位となった。

1位は広島大学、2位は岡山大学、3位は愛媛大学であり、私立大学ではトップという高い評価を獲得した。

次の50年においても輝けるよう特色ある研究・教育体制を構築する必要がある。

平成23年度 教員採用試験 正規合格者数

117名

平成23年度教員採用試験
合格速報!!

岡山理科大学出身の先生が急増!

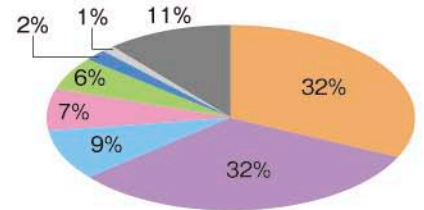
今、特に必要とされている理数系教員を多数育成!

天然資源の乏しい日本にとって、科学技術の研究とその応用はきわめて重要です。その成果をいかすには、科学技術の知見を次世代に伝えていかなければなりません。しかし今、子どもの理科離れ、数学嫌いが増えているといわれています。少子化と相まってこの問題はますます深刻なものとなっています。理数系・理工系の教員こそ、この危機を救える有力な救世主の一人なのです。

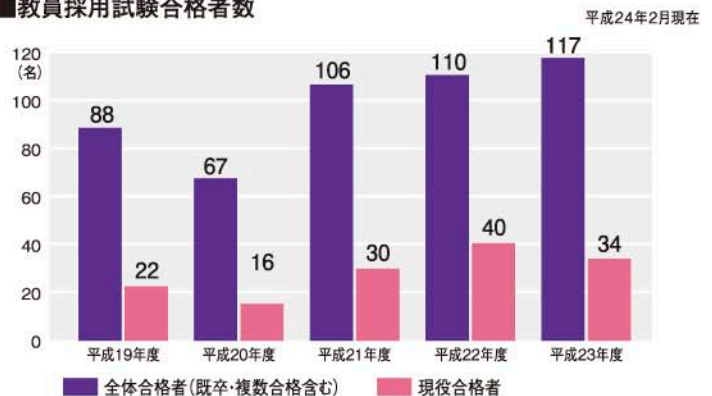
岡山理科大学では、理学部、工学部、総合情報学部、生物地球学部(平成24年4月新設)のすべての学科で教員養成の教育を行っています。どの学部・学科においても高い専門性に裏づけられた優秀な教員を多数育成し、約4,000名の卒業生が教壇に立ち活躍しています。平成23年度教員採用試験においても合格者数が117名にのぼったことが本学調べで判明しました。この117名という数字は、既卒者・重複合格者を含む数字となっています。ちなみにこのうち新卒の合格者数は34名となっています。本学ではこのほかに毎年約80名が講師などとして教職に就いています。

■平成23年度教員採用試験合格者の校種・教科

- 中学数学
- 高校理科
- 高校数学
- 中高数学
- 中学理科
- 小学校
- 中学技術
- その他



■教員採用試験合格者数



教員をめざす学生に、 充実したバックアップする体制!

Point
1

教員採用試験で重視されるのは専門教養、面接、論作文です。授業では過去問題を用いた指導のほか、最新の時事問題を取り入れた面接練習を実施しています。授業以外の時間でも教職課程担当教員がいつでも相談に応じてくれます。

Point
2

教員採用試験は専門教科以外に、教職教養と一般教養からも出題されます。なかには大学の講義や実習ではカバーしきれない内容も出題の対象となります。そこで時事通信社と連携し、年3回「教職ビデオ講座」を実施し、対策に取り組んでいます。

Point
3

教員採用試験に合格するためには、本番の雰囲気になれることも大切です。本学では、東京アカデミー岡山校と連携して「教員採用模擬試験」を実施し、本番に近い状態で専門教科、教職・一般教養、論作文に模擬試験を体験できます。

Point
4

理科教員を志す学生を対象として特別講座を開講しています。科学技術教育の最先端事情、理科教育政策の趣旨や方向性、理科教員に必要な資質や能力などについて、著名な理科教育の専門家から学べる機会を設けています。

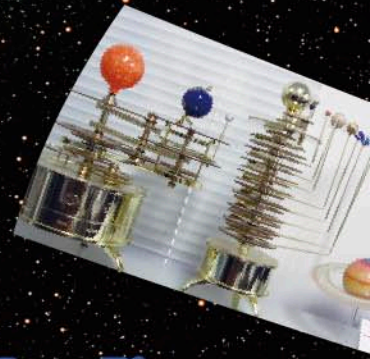
Point
5

近隣市町の依頼を受けて「小学校教諭2種免許取得支援プログラム」に参加する学生を小学校に派遣しています。理科学習の充実を図るよう、理科実験などをサポートすることで、教育現場に立ち会い、視野を広げる貴重な機会を得ることができます。

教員採用試験合格者数

平成19年度実施		平成20年度実施		平成21年度実施		平成22年度実施		平成23年度実施	
88名		67名		106名		110名		117名	
大阪府	12	兵庫県	10	大阪府	13	大阪府	25	大阪府	22
岡山県	10	広島県・市	7	岡山県・市	11	岡山県・市	23	兵庫県	13
神奈川県	7	東京都	6	神奈川県	10	広島県・市	11	岡山県・市	12
愛知県	5	岡山県	6	広島県・市	10	大阪市	9	神戸市	6
広島県・市	4	大阪府	5	大阪市	8	神奈川県	5	広島県・市	6
山口県	4	神奈川県	4	東京都	7	兵庫県	4	福岡県	6
愛媛県	4	愛知県	3	兵庫県	7	東京都	3	神奈川県	5
佐賀県	4	三重県	3	和歌山県	6	岐阜県	3	愛知県	5
岐阜県	3	大阪市	3	山口県	5	愛知県	3	東京都	4
静岡県	3	奈良県	2	愛知県	4	山口県	3	山口県	4
三重県	3	福岡県	2	高知県	3	高知県	3	愛媛県	4
神戸市	3	佐賀県	2	福島県	2	北海道	2	岐阜県	3
福岡県	3	北海道	1	三重県	2	北九州市	2	京都府	3
石川県	2	横浜市	1	神戸市	2	福岡市	2	高知県	3
京都市	2	福井県	1	徳島県	2	佐賀県	2	埼玉県	2
大阪市	2	岐阜県	1	北海道	1	千葉県・市	1	千葉県	2
兵庫県	2	静岡市	1	埼玉県	1	横浜市	1	長野県	2
香川県	2	浜松市	1	千葉県・市	1	石川県	1	静岡県	2
岩手県	1	名古屋市	1	横浜市	1	浜松市	1	大阪市	2
東京都	1	滋賀県	1	石川県	1	三重県	1	北九州市	2
川崎市	1	京都府	1	長野県	1	堺市	1	横浜市	1
横浜市	1	京都市	1	岐阜県	1	和歌山県	1	静岡市	1
山梨県	1	神戸市	1	浜松市	1	香川県	1	和歌山県	1
滋賀県	1	和歌山県	1	堺市	1	福岡県	1	島根県	1
京都府	1	熊本県	1	香川県	1	沖縄県	1	徳島県	1
奈良県	1	鹿児島県	1	愛媛県	1			香川県	1
和歌山県	1			佐賀県	1			熊本県	1
徳島県	1			大分県	1			大分県	1
北九州市	1			沖縄県	1			佐賀県	1
福岡市	1								
熊本県	1								

※既卒者を含みます。※この他にも毎年約80名の新卒者が講師などで教職に就いています。



生物地球学部 4次元宇宙シアター完成

4次元宇宙 シアターって？

4次元宇宙シアターとは、国立天文台の4D2Uプロジェクトで開発されたソフトウェア Mitaka で再現される宇宙の構造を流行の3Dで立体視できるようにした施設の通称のことをいいます。岡山ではライフパーク倉敷科学センターや岡山天文博物館に導入されています。プラネタリウムよりも簡易な施設であるため、最近では大学での導入も進んでいます。生物地球学部では、その施設を学部で設置することで、学生の天文教育や博物館実習へ利用を予定しています。博物館・科学館・プラネタリウムで活躍できる“宇宙シアターのガイド”の育成を目的としています。

4次元宇宙シアターでは、地球からみる星空、太陽系、太陽の周りの恒星の分布、天の川（銀河系）を含む銀河の構造、大規模構造といった現代の宇宙観が最新の天文学のデータに基づき再現されています。太陽系を表示しているときには、自由に時間を進めることができ、惑星や小惑星の運動が観測データに基づき再現されます。空間3次元に、時間1次元を加えて表現できるので、4次元がうたわられています。4次元宇宙シアターを用いると、冥王星がなぜ惑星から除外され準惑星になったかな

ど、より直接的に理解することができます。

生物地球学部 4次元宇宙シアター

4次元宇宙シアターで実現されている3Dの立体視の方式について説明します。右目用と左目用の画像を2台のパソコンでそれぞれ出力し、2台のプロジェクターで投影します。プロジェクターからの光は偏光フィルターを通します。この光を偏光めがねを通して見ること、右目用と左目用の画像を切り分けることができます。この方式は偏光方式とよばれます。液晶テレビなどの3Dの方式は、右目用と左目用の画像を交互に出力するシャッター方式が通常採用されています。シャッター方式の立体視用のめがねは非常に高価であるため、大人数で同時にみる施設にはむきません。

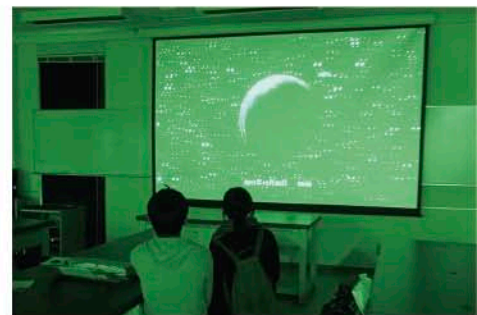
生物地球学部にて4次元宇宙シアターを導入するにあたっては、業者任せにせず、プロジェクターの配置を含めて、システムを検討しました。4次元宇宙シアターといえば、2台のプロジェクターを上下に並べるといふしなげが標準でした。この場合、2台のプロジェクターをつり下げるために、頑丈で高価な特注フレームが必要になります。レンズシフトの機能を備えたプロジェクターを横に並べて設置することで、標準的な取り付けの方法

ですみ、コストも上げることができました。また、プロジェクターの下の空間が広がり、実験室としても圧迫感の少ない状態におさまりました。ソフトウェアをコントロールするコンピュータも自前で用意しました。

4次元宇宙 シアター始動

第一段階の調整が終わった、平成23年の9月のオープンキャンパスで一般公開を行いました。その後も、偏光フィルターを調整し、立体の見え具合が向上しています。設計の工夫と高輝度なプロジェクターのおかげで他の施設で導入されているものよりも明るく、良いものに仕上がっていると思います。現在はイベントの際に適時公開を行なっています。今後は学内や学外への公開方法や学生の利用に関して、検討していきたいと思っています。

第一段階の調整が終わった、平成23年の9月のオープンキャンパスで一般公開を行いました。その後も、偏光フィルターを調整し、立体の見え具合が向上しています。設計の工夫と高輝度なプロジェクターのおかげで他の施設で導入されているものよりも明るく、良いものに仕上がっていると思います。現在はイベントの際に適時公開を行なっています。今後は学内や学外への公開方法や学生の利用に関して、検討していきたいと思っています。



現在されている研究内容について教えてください。

星の誕生・星の集団の形成についてです。星は大体、暗黒星雲という天体の中で生まれるのですが、その暗黒星雲を中心に観測を行い、シミュレーションをしたものと比較して研究を行っています。地上約600km上空の軌道上を周回している、有名なハッブル宇宙望遠鏡で観測した天体を主に研究の対象としています。

どんなところにやりがいを感じますか？

「誰も見てないものを見ている」ということです。初めて調べるデータは、世界で誰も見たことがありません。同じ観測は、同じ装置では基本させてもらえませんが、天体の状態は日によっても変わります。だから、基本的にはデータはいつもオンリーワンなんです。それが天文学のおもしろさかもしれません。ただ、なにが新しいかを理解する能力が必要です。そのデータを見て「どういうところが新しいのか」というのは、過去の研究をよく知っていないとわかりませんから。

大学時代ではどんな研究をされていたのですか？

大学院では、「星は暗黒星雲の中でどのようにして生まれるか」という数値シミュレーションの研究をしていました。最近はシミュレーションではなく、観測とデータ解析が主になっています。きっかけは2つあって、1つはある電波観測の結果を見たときに、あまりきれいな結果じゃないなと感じたことがあって、「理論家でも観測するともっといい結果が出せるんじゃないか？」と思ったこと、もう1つはそのころやっていたシミュレーションとの比較をしたいと思います。シミュレーションは観測と比較しないとつまらないですし、観測をしっかりとおかないと比較することもできませんからね。

岡山理科大学に対してどんなイメージをもっていますか？

理大に勤め始めた頃、25号館からエレベーターでの21号館までの移動手段がなく、階段を利用して研究室まで行っていました。今では、エレベーターを利用して移動ができるようになったので、便利になったと思います。ただ、昔の学生よりも今の学生は歩くことが少なくなった分、体力が低下しているかもしれませんね。(笑)



PROFILE

ふくだ なおや

生年月日：1972年（昭和47）9月23日
略歴：愛知県立西尾高等学校→名古屋大学科学技術振興機構→千葉大学計算科学技術研究員→岡山理科大学。今年で10年目です。
趣味：海外ドラマ、映画（SF）、音楽（J-POP）、読書（漫画から幅広く）

それから、21号館4階にできた生物地球学部4次元宇宙シアターはお勧めの場所です。学科の学生だけでなく、在学生や一般の方に宇宙の素晴らしさを観てもらうことができたら嬉しいです。

在学生に向けてのメッセージ

先を見据えてその場所に足を運んで、自ら道を切り開いてほしいです。私は天文をしている関係で、科学館やプラネタリウム関連に就職したいという学生と話すことがありますが、科学館や博物館などの特殊な世界というのは、人とのつながりが重要だと思うので、そういう学生にはボランティアを勧めています。教員をめざしている人は塾のような専門的なアルバイトをしてほしいです。将来のことを考えて物事をやり遂げていってください。



今回は、RIDAI PRESSの学生スタッフがインタビュー取材してくれました。

加計学園50周年記念館完成

創立50周年記念式典・祝賀会を開催

高い理想と大きな夢を抱いて開学した加計学園は、昨秋創立50周年の節目を迎え、2011年11月19日(土)に華やかで多彩な記念行事を繰り広げました。

午前中、ノーベル化学賞を受賞された鈴木章先生による講演会を開催。その後、岡山理科大学正門前のロータリーに建立された創業者・加計勉名誉理事長像の除幕式をはじめ、50周年記念館のテープカットが行われ、一般公開しました。

午後からは会場を加計記念体育館に移して記念式典・祝賀会が行われました。会場には安倍晋三元首相ら政財界や教育界などから約1150人が出席。加計孝太郎理事長が「『若人が持つ能力を最大限に引き伸ばす』という建学の理念のもと、社会に貢献する人材を育ててきました。今後も研究成果を還元して地元貢献に努め、歴史と伝統を紡ぎたい」と式辞を述べました。その後、約100人による鏡開きの後に乾杯し、創立50周年を祝うと共に、学園のさらなる発展を祈願しました。

また、式典は千葉県銚子市の千葉科学大学でもテレビ中継され、両会場で盛大に行われました。



さまざまな記念講演会を開催

学園創立50周年を記念して、岡山と銚子で3つの講演会が開かれました。

11月16日(水)、岡山理科大学理大ホールにて柔道家の山下泰裕先生(東海大学副学長)による『人生の金メダルを目指して』と題しての講演会を開催しました。山下先生は、足を負傷しながらも痛みを耐えてオリンピックで優勝し、全国に感動を与えたエピソードを紹介され、数々の勝利にも、そこにとどまらず前進したことを強調し、「過去の栄光を大切にしようとは思わず、今をひたむきに生きることを第一に考えてきた」と語られました。

11月19日(土)、同会場でノーベル化学賞を受賞された鈴木章先生(岡山理科大学・倉敷芸術科学大学特別栄誉教授)による講演会が開催されました。『ノーベル化学賞を受賞して』と題して約1時間半行われ、中高生から一般の方々、教育関係者など約600人が集いました。鈴木先生は「岡山は第二の故郷」と岡山への愛着を話され、また理科離れが指摘される若者たちに対し「資源の乏しい日本では高い付加価値の物づくりが重要。科学や技術は大切で、ぜひ興味を持って欲しい」と話されました。

また、11月19日(土)千葉科学大学マリーナキャンパス体育館で『朝ズバ!!』でもおなじみの毎日新聞社論説委員・与良正男氏による『私たちが変われば政治も変わる』と題しての講演会が行われました。



公開シンポジウム開催

加計学園創立50周年と毎日新聞創刊140年という節目を記念した公開シンポジウム『命を守る防災新世紀～日本文化に根ざす自然との共生の知恵と科学技術の融合を目指して』が2011年9月10日、大阪の毎日新聞オーバルホールで開かれ420人が熱心に耳を傾けました。

作家の椎名誠さんが『異文化から見た日本～主に自然との共生について』と題して記念講演会を開催され、続いて、女優の三田寛子、写真家の井上隆雄、大阪市危機管理室長の打明茂樹、千葉科学大学危機管理学部の藤本一雄、岡山理科大学総合情報学部の富岡直人の5氏をパネリストにむかえ『命を守る 防災新世紀』をテーマにパネルディスカッションが行われました。

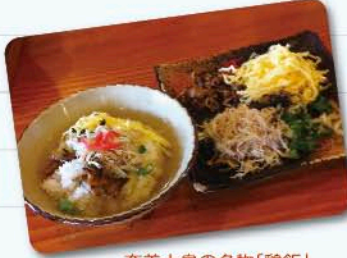


奄美大島に 行ってきました!



奄美大島の大自然の中で、シーカヤックやシュノーケリングを通して、海でのフィールド活動の技術を身につけたり、奄美の伝統文化を体験したり、地元の方と交流をしたり、とても内容の濃い4泊5日間を過ごしてきました。

台風12号が奄美大島に接近し、飛行機が無事に飛ぶのか?!という不安の中、なんとか奄美大島へ行くことができ、学生や先生も一安心。現地でお世話になる高野先生とお手伝いをしてくださる森さんと合流し、いよいよ奄美大島の大自然の中へ突入です。



奄美大島の名物「鶏飯」

3日間は、地元の方の家への民泊。1日目の夜は奄美大島でしか見ることのできないアマミノクロウサギにも遭遇しました!

2日目の夜は、阿鉄集落の方と交流会があり、奄美の歴史を聞いたり、人生論を語ったり、みんなそれぞれ交流を楽しんで過ごしました。人の温かさに感動した夜でした。



演目「力めし」

わったりする女子学生など、アットホームな光景が見られました。

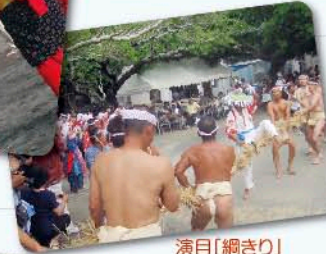
4日目、油井の豊年祭(鹿児島県無形民俗文化財指定)を見学してきました。今年の豊作を感謝すると共に、更に来年の豊作を祈願する姿をユーモラスな寸劇、相撲等で表現。様々な演目があり、油井青壮年団の方々が演舞を行います。そんな青壮年団の方々の様子を真剣なまなざしで見ている子どもたちの姿がありました。人から人へと伝えられ



ていく大切な行事の一つでもある素晴らしい伝統文化を目の当りにしました。油井の豊年祭に魅了され、終始感動。最後の演目、「八月踊り」は学生全員参加し、貴重な体験をしました。



阿鉄集落の方とお別れをし、奄美空港近くのホテルへと移動。あっという間に奄美大島での実習も終わりに



演目「網きり」

近づき、みんな「もっと奄美大島にいたい。岡山に帰りたくない。」と呟っていました(笑)



「八月踊り」に参加

みんなで早起きをし、「ホテルの近くに海がきれいな海岸がある。」と

さを体感しました。

シュノーケリングをして、海の中に住む生き物を観察したり、現地の方が手作りした釣り道具を使い、魚釣りもしました。



夜は、地元の方と一緒に準備をし、魚のさばき方の指導を受ける男子学生や、お手伝いをしたり、魚の煮つけの作り方を教

聞き、森さんに海岸まで案内してもらいました。改めて奄美大島の海の壮大さを実感しました。

普段の講義では味わうことのできない貴重な体験をした4泊5日でした。奄美大島の自然の素晴らしさにも感動し、また現地の方の優しさや、心の温かさにも触れ、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。みなさんぜひ一度訪れて、奄美大島の素晴らしさを体感してみてください。

久川 春菜
(基礎理学科 3回生)



土盛海岸この海は東シナ海である!

詳しくはwebへ! http://www.ous.ac.jp/ridai_press/mission014.html

海外研修

時間

～23日間で学んだこと～



岡山理科大学が所属している加計グループ。そのグループで行っている"2011 UF-KAKE Ambassador Program"という交換留学プログラムに参加して、アメリカで海外研修をしてきました!

2011年の8月16日～9月7日にかけての約3週間、短期研修としてアメリカに行ってきました。正直、英語は中学生の頃から大の苦手…。そんな僕が海外研修に参加しようと思った理由は、オーストラリアに留学している友だちの話を聞いた時、「世界は自分が思っているよりずっと広いのに、なんで自分は日本だけにいるのだろう」と思い、「日本だけしか知らない自分の考え方を変えてみたい。世界の様々な場所でいろいろな人と出会い、話をしてみたい」と思い、海外研修に参加したので。



このプログラムで、加計学園が海外協定を結んでいるアメリカのフィンドリー大学に行き、学生たちと遊んだり講義に参加したりし、アメリカでのキャンパスライフを経験しました。



アメリカでの講義は、先生がとてモフレンドリーで、日本で受ける講義とは大きく異なっていました。1クラスの学生数が少なく、最初の講義で先生は学生の名前だけでなく、出身地や年齢などを覚えるそうです。私たちのプロフィールもすぐに覚えてくれました。



フィンドリーだけではなく、ワシントンD.C.にも観光に行き、現地在住の学生と先生がツアーガイドとして同行してくれ、ハンコック博物館やホワイトハウスなどの観光地を巡りました。



海外研修の中で少しの期間ですが、ホームステイで、アメリカの家族というものも体験させてもらいました。



これらは、アメリカでの食事の写真ですが、とにかく量が多く、極端に甘かったり濃かったりするの、日本人の僕には合わないものも正直ありました。ホットケーキなど、ほぼお皿と同じ大きさで3枚も重ねてあります。朝食からこの量でしたが、1枚も食べきれませんでした(笑)



これまでの僕は、テストのために英語を勉強していました。しかし、この研修で、いろいろな人と出会って友だちができ、「今、英語が喋れて自分の思っていることを言葉にできたら、どんなに楽しいだろう」と思うことが何度もありました。本当に心の底から「英語を話せるようになりたい」と思うようになりました。この海外研修で、僕は「挑戦する」ということの大切さを実感することができました。確かに未知のことに挑戦することは怖いし勇気のいることだと思います。海外研修に参加しようと思った当初は不安で一杯でしたが、今は参加して本当によかったと思います。この研修での経験をもとに、これからも色々な事に常に挑戦する気持ちを忘れないでいきたいです。

多久和 徳一郎
(電気電子システム学科 2回生)



詳しくはwebへ! http://www.ous.ac.jp/ridai_press/mission015.html

学生広報スタッフ 募集!



大学の広報活動に協力してくれる「学生広報スタッフ」の募集を行っています。元気な、そして企画力のある人、一緒に広報活動を盛り上げていきましょう!

下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】岡山理科大学入試広報部
電話:086-256-8412

Web http://www.ous.ac.jp/ridai_press/

E-mail pr-staff@std.ous.ac.jp



古武道部

第26回全日本学生古武道演武大会 出場

バスケットボール部

2011年全国日本大学バスケットボール部
選手権大会中国地区予選会

男子 1回戦

岡山理科大学 83-64 鳥取大学

2回戦

岡山理科大学 110-70 広島県立大学

3回戦

岡山理科大学 70-73 広島国際大学

3位決定戦

岡山理科大学 53-83 島根大学

女子 1回戦

岡山理科大学 30-105 安田女子大学

少林寺拳法部

2011年度全日本学生少林寺拳法大会 出場

バドミントン部

第36回中国学生バドミントン選手権大会

弓道部

第57回中四国学生弓道選手権大会

男子団体

原田信彰 公文俊佑 中村真一 中谷淳平

宮本慎也 竹田都央 持田貴大 安倉匠

平田幹雄

96射中71中

決勝リーグ進出

女子団体

土井花菜 宮田温江 千葉美幸 峰松由季

48射中31中

決勝リーグ進出

陸上競技部

第65回中四国学生陸上競技対抗選手権大会
兼第26回ユニバシアード競技大会選考会

男子800m決勝

小山貴康 2レーン 2'00"82 5位

男子棒高跳び決勝

日高渉 試順11 4m00 4位

女子棒高跳び決勝

品川文音 試順4 3m00 優勝

第65回中国五県陸上競技対抗選手権大会
兼96回日本陸上競技選手権大会中国地方予選会

女子棒高跳び

品川文音 試順9 3m10 2位

天皇賜盃第80回

日本学生陸上競技対抗選手権大会

女子棒高跳び

品川文音 試順4 3m20 16位

アーチェリー部

第50回全日本学生ターゲットアーチェリー
個人選手権大会

男子(72人中)

90m 70m 50m 30m 合計

254点 285点 309点 340点 1188点

61位 平山

合気道部

全日本演武会 出場

全国学生合気道演武大会 出場

軟式野球部

西日本地区学生軟式野球春期II部リーグ戦
5位

平成23年度西日本地区

学生軟式野球秋期II部リーグ戦

4位

ベストナイン

二塁手部門 舟木翔一郎

馬術部

平成23年度中国四国地区新人交歓戦

大久保香里

60cmクロス障害 3位/14頭中

中村綾花

60cmクロス障害 4位/14頭中



※体育局本部に提出された「活動結果報告書」を基に作成しました。



文化局本部

4月	花見
5月	顔見せ局会、皐月祭
6月	六月行事
7月	救急法講習会、大掃除
8月	夏合宿
10月	十月行事
12月	忘年会
2月	大掃除、研修会、新旧交代コンパ
3月	追い出しコンパ

ワンダーフォーゲル部

4月	花見
5月	熊山錬成トレーニング
6月	大山オープン
8月	テント祭り
1月	卒業ワンデリング
3月	卒業コンパ

クラシックギター部

4月	花見
5月	皐月祭、新入生歓迎会
8月	風鈴歌賛、夏合宿
10月	定期演奏会
12月	大掃除、忘年会

囲碁将棋部

4月	中四国学生将棋大会
5月	皐月祭
6月	学生本因坊戦、新入生歓迎会
8月	学生十傑戦、夏合宿

軽音楽部

4月	入学式 依頼演奏
5月	新入生歓迎会、皐月祭 演奏
6月	岡山大学と対バン
9月	合宿
10月	定期演奏会
11月	半田山祭
12月	忘年会
3月	追い出し録音会 くらしきビッグバンドフェスティバル

写真部

4月	花見
5月	皐月祭、集団撮影会
6月	新人展、新入生歓迎会
7月	夏の宴
8月	夏合宿
9月	学外展
11月	半田山祭
12月	忘年会
2月	追い出しコンパ
3月	卒業コンパ

天文部

4月	新入生歓迎写真展、琴座流星群部観測
5月	新入生歓迎コンパ
6月	大掃除、下宿まわり
8月	夏合宿
10月	天文台見学、オリオン座流星群部観測
11月	半田山祭
12月	ふたご座流星群部観測
2月	追い出しコンパ
3月	卒業コンパ

映画研究部

4月	花見
5月	皐月祭 上映
6月	ストリートハッスル
8月	夏合宿
11月	半田山祭 上映
12月	12月 上映
3月	追い出しコンパ

美術部

5月	皐月祭
6月	就実大学合同展
8月	夏合宿
11月	焼き芋会、半田山祭
3月	追い出しコンパ

書道部

5月	皐月祭
6月	高校大学書道展、福山臨書展、 新入生歓迎コンパ
7月	県展
10月	書道部展
11月	半田山祭

情報処理研究部

4月	花見
5月	皐月祭、新入生歓迎コンパ
6月	ポウリング大会
8月	夏合宿
11月	半田山祭
12月	追い出しコンパ
3月	謝恩会、春会議

混声合唱団クリスタルコール部

4月	花見
5月	皐月祭、発声講習会、新歓コンパ
6月	合唱フェスティバル
9月	夏合宿
10月	OSCA交歓会
12月	定期演奏会
1月	新年会
3月	春合宿、追い出しコンパ

児童文化部

4月	幸町図書館イベント
5月	皐月祭、春の子どもまつり
11月	秋の子どもまつり
12月	中央図書館クリスマス会、 幸町図書館クリスマス会
2月	幸町図書館人形劇

ユースホステル部

4月	花見
6月	熊山キャンプ、新入生歓迎会
8月	無人島キャンプ
9月	夏旅行
10月	日帰り旅行
12月	忘年会
1月	新年会
3月	春旅行、追い出しコンパ

茶道部

5月	皐月祭、新入生歓迎会
6月	水無月茶会
8月	夏合宿
11月	半田山祭 茶会
12月	お稽古じまい
1月	初釜
3月	追い出しコンパ



REPORT

平成23年度 受賞者一覧

①所属学科 ②受賞者 ③表彰団体 ④受賞名 ⑤業績題名等

理学部(理学研究科)

教員	①化学科 ②高原 周一(共同受賞) ③文部科学省 ④平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術特別賞 理解増進部門 ⑤科学ボランティアの人材養成と地域連携による科学理解増進
	①化学科 ②豊田 真司 ③日本学術振興会 ④特別研究員等審査委員会(書面担当)表彰 ⑤書面審査において模範となる審査意見を付した専門委員に対する表彰
	①化学科 ②豊田 真司、原田 紘明(豊田・岩永研究室)、宮原 博昭(豊田・岩永研究室)、川上 恭弘(豊田・岩永研究室)、若松 寛、岩永 哲夫 ③日本化学会 ④BCSJ賞 ⑤Construction of Higher 1,8-Anthrylene-Alkynylene Structures: Synthesis, Structures, and Conformational Analysis of Cyclic Hexamer and Dodecamer.
①基礎理学科 ②山口 一裕(共同受賞) ③文部科学省 ④平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術特別賞 理解増進部門	

教員	⑤科学ボランティアの人材養成と地域連携による科学理解増進
	①生物化学科 ②猪口 雅彦(共同受賞) ③文部科学省 ④平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術特別賞 理解増進部門 ⑤科学ボランティアの人材養成と地域連携による科学理解増進
	①生物化学科 ②林 謙一郎 ③植物化学調節学会 ④平成23年度植物化学調節学会賞 ⑤オーキシンの信号伝達・輸送に関するケミカルバイオジー
大学院生	①動物学科 ②小林 秀司(共同受賞) ③文部科学省 ④平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術特別賞 理解増進部門 ⑤科学ボランティアの人材養成と地域連携による科学理解増進
	①化学専攻 ②川本 圭祐(柴原研究室) ③日本化学会 中国四国支部 ④支部長賞

大学院生	⑤キノリン骨格を有するシッフ塩基を配位子とする金属錯体の合成と性質
	①化学科 ②澤田 拓也(赤司研究室) ③日本化学会 中国四国支部 ④支部長賞 ⑤糖連結フッ素クロリン誘導体を配位子とする白金錯体の合成と性質
	①応用物理学科 ②井上 暁(畑中研究室) ③一般社団法人 日本臨床工学技士教育施設協議会 ④会長賞 ⑤臨床工学技士の養成課程に在籍している学生で学業修得に精励し、かつ成績が優秀であり、臨床工学技士教育施設卒業学生の規範とするに十分であると認められる学生に贈られる賞
学部生	①応用物理学科 ②原 大志(尾崎研究室) ③社団法人 日本臨床工学技士会 ④会長賞 ⑤臨床工学技士の養成課程に在籍している学生で学業に優れ、ボランティア活動等に積極的であった学生に贈られる賞

工学部(工学研究科)

教員	①バイオ・応用化学科 ②滝澤 昇(共同受賞) ③文部科学省 ④平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術特別賞 理解増進部門 ⑤科学ボランティアの人材養成と地域連携による科学理解増進
	①機械システム工学科 ②金谷 輝人(共同受賞) ③軽金属学会 中国四国支部 ④論文賞 ⑤インサート材を用いた1050アルミニウム板-ポリプロピレン樹脂板レーザー接合に及ぼすアルミニウムの表面状態の影響
	①機械システム工学科 ②金谷 輝人(共同受賞) ③軽金属学会 中国四国支部 ④論文賞 ⑤アルミニウム合金中の添加元素と活性化処理が亜鉛置換処理と無電解ニッケル-りんめっきに与える影響
大学院生	①機械システム工学専攻 ②松山 億希(金谷研究室) ③軽金属学会中国四国支部 ④優秀ポスター賞 ⑤アルミニウム/ポリプロピレン樹脂レーザー接合に及ぼす基盤表面状態の影響
	①機械システム工学専攻 ②横溝 大地(金谷研究室) ③軽金属学会中国四国支部 ④優秀ポスター賞 ⑤各種アルミニウム合金のジシケート皮膜形成に及ぼす溶質原子の影響
	①機械システム工学専攻 ②平岡 隼人(金谷研究室)

教員	①情報工学科 ②島田 英之 ③(社)山陽技術振興会 ④村川技術奨励賞 ⑤道路周辺の3Dモデル高速生成技術の開発
	①生体医工学科 ②中路修平 ③高分子学会 ④日本高分子学会フェロー(平成23年9月受賞) ⑤継続的な高分子科学・技術学術・研究活動、産業技術の開発・育成、教育・公益活動を通じて、高分子科学・技術の発展に顕著な業績を上げた会員
	①機械システム工学専攻 ②松山 億希(金谷研究室) ③軽金属学会中国四国支部 ④優秀ポスター賞 ⑤アルミニウム/ポリプロピレン樹脂レーザー接合に及ぼす基盤表面状態の影響
大学院生	①機械システム工学専攻 ②横溝 大地(金谷研究室) ③軽金属学会中国四国支部 ④優秀ポスター賞 ⑤各種アルミニウム合金のジシケート皮膜形成に及ぼす溶質原子の影響
	①機械システム工学専攻 ②平岡 隼人(金谷研究室)

大学院生	③軽金属学会中国四国支部 ④奨励賞 ⑤Al-1.2%Si合金の機械的性質に及ぼす無電解Ni-Pめっき処理の影響
	①機械システム工学科 ②小早川 翔吾(金枝研究室)、金枝 敏明 ③岡山リサーチパーク研究・展示発表会実行委員会 ④産学官連携推進賞 ⑤UHMWPEへのVitaminE添加による摩擦係数・摩擦係数への影響
	①機械システム工学科 ②児玉 昌彦(金枝研究室)、後藤 洋平(金枝研究室)、金枝 敏明 ③岡山理科大学OVSフォーラム2011 ④OVSフォーラム2011奨励賞 ⑤ガーターパネを組込んだ衝撃緩和型Metal-on-Metal人工股関節の開発
学部生	①建築学科 ②上西 徹、山本 賢次郎、横内 貴至、小野 義行、古賀 美奈子、伍賀 達哉、齋藤 早月、須谷 悠希 ③岡山建築設計クラブ ④第18回ワンデーエクササイズコンペ「西川緑道公園の魅力とにぎわいを創る」 優秀賞 ⑤mound around

総合情報学部(総合情報研究科)

教員	①生物地球システム学科 ②大橋 唯太 ③日本生気象学会 ④研究奨励賞 ⑤数値気象モデルを利用した屋外活動空間の暑熱評価
	①生物地球システム学科 ②大橋 唯太 ③岡山理科大学OVSフォーラム2011 ④奨励賞 ⑤盆地霧の予測可能性について

教員	一広域ライブカメラからの検討一
	①シミュレーション科学専攻 ②守屋 陽輔(矢城研究室)、矢城 陽一郎、今川 敦(直島研究室)、木村 崇知(甲南化工機)、亀澤 誠(甲南化工機)、直島 好伸 ③日本コンピュータ化学会 ④10周年記念SCCJ特別奨学賞 ⑤「酵素リパーゼの鏡像体選択性に関する大規模生体分子化学計算」

自然科学研究所

教員	①自然科学研究所 ②板谷 徹丸 ③日本鉱物科学会 ④平成22年度日本鉱物科学会賞(受賞は平成23年9月) ⑤鉱物科学の進歩に顕著に貢献した業績
----	---

※判明した受賞者のみ掲載

REPORT

平成22年度 財務の概要

貸借対照表(学園全体)

平成23年3月31日現在

貸借対照表は企業会計と同様に、年度末時点における資産の保有状態とその保有形態を示すものです。

資産は固定資産と流動資産に大別され、土地、建物等は固定資産に計上され、現預金等は流動資産に含まれています。

① 資産の部

有形固定資産には、土地、建物、教育研究用機器備品等が計上され、約561億円となっています。流動資産には現金・預金や有価証券等が計上され、約218億円となっており、資産総額は約828億円となっています。

② 負債の部

固定負債には長期借入金や退職給与引当金等が計上され、約117億円となっています。流動負債は約38億円で、授業料等の前受金が計上されています。負債総額は約155億円となっています。

③ 基本金の部

基本金(学校を運営していく上で最低限保有していなければならない財産で、自己資金で取得した土地、建物、機器備品等の額)は今までの累計で約766億円に達しています。

④ 消費収支差額の部

平成22年度末では、昨年度と比較して消費支出超過額は約12億円増加し、消費支出超過の累計額で約93億円となっています。

資産の部

科 目	平成22年度末
固定資産	61,072,440,943
・有形固定資産	56,143,112,298
・その他の固定資産	4,929,328,645
流動資産	21,809,902,768
資産の部合計	82,882,343,711

負債の部

科 目	平成22年度末
固定負債	11,701,616,115
流動負債	3,863,705,679
負債の部合計	15,565,321,794

基本金の部

基本金の部合計	76,640,406,413
---------	----------------

消費収支差額の部

科 目	平成22年度末
平成23年度繰越消費支出超過額	△9,323,384,496
消費収支差額の部合計	△9,323,384,496

負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計	82,882,343,711
-------------------------	----------------

資金収支計算書(岡山理科大学)

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

資金収支計算書とは、当年度の現金預金(支払資金)の出納状況を勘定科目別に集計し、当年度どのように増減したかを明らかにする帳票で、家計簿を想像していただけるとわかりやすいと思います。

収入の部では、学生生徒等納付金収入の約77億円と、補助金収入の約12億円が収入で大きな割合を占めています。

また、支出の部では、人件費支出の約49億円で、教育研究経費支出の約19億円と、教育に関わる施設設備(施設関係支出+設備関係支出)に約3億円を支出して、教育環境、教育内容の充実に努めています。

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
学生生徒等納付金収入	7,739,266,410	授業料、その他納付金
手数料収入	142,180,595	入学検定料他
寄付金収入	32,960,000	
補助金収入	1,232,432,362	
内 国庫補助金収入	1,231,885,000	
内 地方公共団体補助金収入	547,362	
資産運用収入	5,811,150	
事業収入	67,306,322	
雑収入	89,616,107	
借入金等収入	431,562,000	
収入の部合計	9,741,134,946	
人件費支出	4,940,606,148	教職員給与他
教育研究経費支出	1,975,580,475	実験実習・研究費他
管理経費支出	376,305,678	
借入金等利息支出	97,297,120	
借入金等返済支出	536,535,000	
施設関係支出	144,787,288	
設備関係支出	232,426,507	
支出の部合計	8,303,538,216	

消費収支計算書(岡山理科大学)

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

消費収支計算書は企業会計でいう損益計算書にあたるもので、当年度の収支が収入超過か支出超過かを示すものです。帰属収入から消費支出を差し引いた額が、当年度の利益(損失)にあたるかと考えられていますが、学校法人会計では帰属収入から基本金組入額(学校を運営していく上で最低限保有していなければならない財産で、当年度自己資金で取得した土地、建物、機器備品等の額)を差し引いたものを消費収入とし、それと消費支出を比較して当年度の収入超過額、または支出超過額を求めています。

収入の部では、資金収支計算書と同様に学生生徒等納付金の約77億円と、補助金の約12億円が収入で大きな割合を占めています。

また、支出の部では、資金収支計算書とは異なり、教育研究経費に建物、教育研究機器備品等の減価償却費が加算され、約28億円となっています。

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
学生生徒等納付金	7,739,266,410	授業料、その他納付金
手数料	142,180,595	入学検定料他
寄付金	56,010,650	現物寄付を含む
補助金	1,232,432,362	
内 国庫補助金	1,231,885,000	
内 地方公共団体補助金	547,362	
資産運用収入	5,811,150	
事業収入	75,996,307	
雑収入	89,616,107	
帰属収入合計	9,341,313,581	
基本金組入額合計	△128,160,996	
消費収入の部合計	9,213,152,585	
人件費	4,940,606,148	教職員給与他
教育研究経費	2,801,894,946	実験実習・研究費他
内(教)減価償却額	826,314,471	
管理経費支出	559,371,461	
内(管)減価償却額	136,912,563	
借入金等利息	97,297,120	
資産処分差額	35,089,110	
徴収不能引当金繰入額等	9,561,265	
消費支出の部合計	8,443,820,050	



CALENDAR

2012年度 前期スケジュール

学期		行事	
前期	4月	2日(月) 入学前オリエンテーション	 
		3日(火) 入学宣誓式	
		4日(水)～ 7日(土) 新入生オリエンテーション	
		4日(水)～10日(火) 定期健康診断	
	5月	9日(月) 在学生オリエンテーション 日本学生支援機構奨学金 説明会	
		10日(火) 前期 講義開始	
		14日(土) 就職進路懇談会	
		30日(月) 学園創立者の日	
		12日(土)～13日(日) 皐月祭(春の大学祭)	
6月	10日(日) 春のオープンキャンパス		
7月	23日(月) 定期試験開始		
8月	4日(土)・5日(日) 夏のオープンキャンパス 8日(水)～9月12日(水) 夏季休業		
9月	8日(土)・9日(日) 教育進路懇談会(地方会場)		
	13日(木) 後期 オリエンテーション		
	14日(金) 後期 講義開始		
		15日(土) 教育進路懇談会(岡山会場)	
		23日(日) 秋のオープンキャンパス	

編集後記

2011年度の教員採用試験正規合格者数は117名となりました。昨年度の110名に続き、理系に強い教員が巣立っていったことをうれしく思います。

2011年11月、加計学園は50周年を迎え、加計勉名誉理事長像の除幕式や記念式典、祝賀会などのイベントが行われました。岡山理科大学も2014年に50周年を迎えます。これからも発展し続ける大学でありたいと思っています。どうぞ、ご期待ください。

岡山理科大学